

授業コード： 2230400600

英文科目名称: Clinical Practice in Community Health Nursing

授業種類	【開講】		【授業時間】	
	前期		150時間	
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	高林 知佳子 cn. ac. jp	新潟県立看護大学	304	takabaya@niigata-
	◎野口 裕子 cn. ac. jp	新潟県立看護大学	209	yuko@niigata-
	前川 絵里子 cn. ac. jp	新潟県立看護大学	307	maekawa@niigata-
	久保野 裕子 cn. ac. jp	新潟県立看護大学	共同研究室2	kubono@niigata-
	野村 優希 cn. ac. jp	新潟県立看護大学	共同研究室2	yukinomu@niigata-
	実務経験のある教員が担当します。			
【本学の科目区分】				
専門科目				
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】				
保健師課程				
【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】				
◎ ○ ○				

到達目標	1. 個人、家族、集団の看護上の問題を健康と社会的条件との関連から明らかにすることができる。 2. 地域における個人、家族、集団、組織を対象とする看護活動の方法と活動の展開に必要な基本的技術を習得する。 3. 個人・家族を対象に地域で継続的に提供する家族支援方法を習得する。 4. 地域ケアシステムにおける保健所、市町村、地域包括支援センターの機能と役割を理解する。 5. 地域で生活する人々とのパートナーシップと協働活動について理解する。 6. 保健医療福祉チームにおける看護職の役割と連携・協働の重要性を理解する。 7. 地域の健康課題解決のための具体的な方法と管理的な立場にある者をととしてリーダーシップ、公衆衛生看護管理を理解する。 8. 学校保健分野・産業保健分野における公衆衛生看護活動の実際を理解する。
授業概要	公衆衛生看護学実習は、地域集団の健康状態をアセスメントする「地域診断実習」1週間と主に保健所・市町村における保健師活動、地域包括支援センター、新任期から管理職にわたる公衆衛生看護管理を学ぶ「保健所・市町村実習」2週間、生活習慣病等で継続支援の必要な者への看護活動を学ぶ「継続訪問実習」1週間、④学校保健分野と産業保健分野の看護活動を学ぶ「学校保健・産業保健実習」1週間の合計5週間で構成する。
授業計画	1単位 授業内容 授業形態：現地実習 学修課題：地域診断実習 学修内容：1. オリエンテーション 2. 地区踏査 3. 地域住民、関係施設・関係機関の訪問 4. 公衆衛生看護活動計画の立案 事前学修：演習で作成したコミュニティアズパートナーモデルを振り返ること 事後学修：実習で体験したことをコミュニティアズパートナーモデル・健康課題抽出・公衆衛生看護活動計画に反映させる 備考：詳細は公衆衛生看護学実習要項を参照すること 2単位 授業内容 授業形態：現地実習 学修課題：保健所・市町村実習 学修内容：1. オリエンテーション 保健所・市町村の役割機能 2. 保健活動の見学・参加・実施 3. 保健師活動の見学・参加・実施

	4. 地域包括支援センターが行う業務の参加 5. 統括保健師による公衆衛生看護管理に関する講話 事前学修：実習で参加予定の事業に関しては、法的根拠・事業の流れ・保健師の役割について自己学習すること 事後学修：参加した事業を振り返り、住民の様子や保健師の役割について自分の考えをまとめレポートを作成する 備考：詳細は公衆衛生看護学実習要項を参照すること 1単位 授業内容 授業形態：現地実習 学修課題：継続訪問実習 学修内容：1. オリエンテーション 2. 継続訪問 3. 事例検討 4. 他職種、他機関との連携 事前学修：受け持ち予定の療養者（母子）事例の疾患について自己学習すること、訪問前に訪問目的を整理すること 事後学修：訪問後に訪問時の様子や今後の予定について振り返ること 備考：詳細は公衆衛生看護学実習要項を参照すること 1単位 授業内容 授業形態：現地実習 学修課題：学校保健・産業保健実習 学修内容：1. オリエンテーション 2. 学校保健現場への参加 3. 産業保健現場への参加 4. 学校保健・産業保健の実習を通して考えた健康課題と課題解決方法の具現化 事前学修：実習先の事業所・学校の概要をまとめ、想定される健康課題を明確にする 事後学修：実習内容を振り返り、産業保健・学校保健における健康課題と産業保健師・養護教諭の役割を見出すこと 備考：詳細は公衆衛生看護学実習要項を参照すること
評価方法、評価基準	実習状況90%、レポート10%（到達目標1～8について総合的な達成度を評価する）で評価する。 実習状況は評価表に基づき地域診断実習100点（到達目標1の達成度を評価する）、保健所・市町村実習200点（到達目標2, 4～7の達成度を評価する）、継続訪問実習100点（到達目標3の達成度を評価する）、学校保健・産業保健実習100点（到達目標8）の総合計とし、総合計の90%を実習状況として評価する。 評価の詳細は、公衆衛生看護学実習要項を参照すること。 評価にあたり、各実習ファイルやレポートの提出が期限にできなければ、0点とする。
必携図書	標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論（医学書院） 標準保健師講座2 公衆衛生看護技術（医学書院） 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動（医学書院）
参考図書・資料等	国民衛生の動向（厚生統計協会） コミュニティアズパートナー 地域看護学の理論と実際（医学書院） 公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護技術論Ⅰ・Ⅱ、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、公衆衛生看護学演習で用いた講義資料
受講、課題、資料配布等のルール	必要時知らせる
教員からのメッセージ	積極的な実習態度を期待します。
オフィスアワー	時間指定なし（予約必要）